

第3回北薩トンネル技術検討委員会 議事要旨

1 日 時:令和8年1月16日(金) 14:00~16:00

2 場 所:鹿児島県庁 18階特別会議室

3 出席者(敬称略)

委員長:酒匂 一成(鹿児島大学)

委 員:砂金 伸治(東京都立大学)

大島 洋志(一般社団法人 日本応用地質学会)

日下 敦(国立研究開発法人 土木研究所)

鍬 淳司(国土交通省 九州地方整備局)

田口 幸洋(福岡大学)

西垣 誠(岡山大学)

藤田 智弘(国土交通省 国土技術政策総合研究所)

4 議事要旨

- ・ 今回の委員会では、前回第2回委員会で提案した(水抜き導坑と水抜きボーリングからなる)「水抜き工」について、県から、その後の進捗状況や湧水量・地下水位等の経緯・観測結果の報告があった。
- ・ 水抜き工の完了により地下水位が低下し、トンネル本体の被災箇所における湧水がほぼ解消し、今後の復旧工事に向け、作業の安全性が確保されることが確認できた。
- ・ 併せて、トンネル本体の復旧工法について議論を行い、支保工と覆工の構造は原形復旧を基本とし、本体復旧工事に向けた準備を進めることを確認した。
- ・ なお、本日、議論した復旧工法については、工事着工後に、坑内に堆積している土砂等を撤去し、現在、不可視となっている部分の状態、地下水位や湧水の状況を確認・検討し、対策を行うこととする。
- ・ 委員会としては、早期復旧に向け、引き続き、県に対し助言を行うこととしている。

